

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-283351

(43)Date of publication of application : 12.10.2001

(51)Int.Cl.

G08B 21/24  
G08B 21/00

(21)Application number : 2000-132993

(71)Applicant : ARAKAWA OSAMU

(22)Date of filing : 28.03.2000

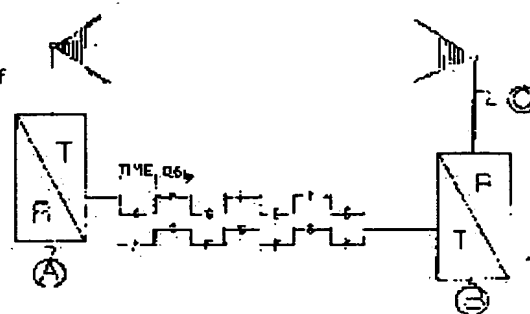
(72)Inventor : ARAKAWA OSAMU

## (54) MACHINE FOR PREVENTING LOSS OF ARTICLE

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a loss prevention machine consisting of a pair of a master set and a slave set and capable of reacting to separation beyond fixed distance between the master set and the slave set and reacting to approach to a specific distance between the master set and the slave set so as to detect an article lost and looked for.

**SOLUTION:** The master set (A) intermittently sends a radio wave (t) for a fixed period (TIME). The slave set (B) receives (r) the radio wave (t), and immediately after the reception of the radio wave (t), sends a radio wave (t) back to the master set (A). The master set (A) checks the radio wave (t). The above cycle of processing is repeated. When the period is disturbed, the master set (A) reacts to the disturbance and informs of the disturbance by buzzing or the like. Consequently, the loss of belongings can be prevented.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-283351

(P2001-283351A)

(43) 公開日 平成13年10月12日 (2001. 10. 12)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 8 B 21/24

21/00

識別記号

F I

G 0 8 B 21/24

21/00

テームコード\* (参考)

5 C 0 8 6

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-132993 (P2000-132993)

(22) 出願日 平成12年 3 月 28 日 (2000. 3. 28)

(71) 出願人 500201749

荒川 修

兵庫県伊丹市野間字熊野774番地

(72) 発明者 荒川 修

兵庫県伊丹市野間字熊野774番地

Fターム (参考) 5C086 AA21 BA30 CA06 CB21 CB27

DA01 DA19 EA08 EA11 EA17

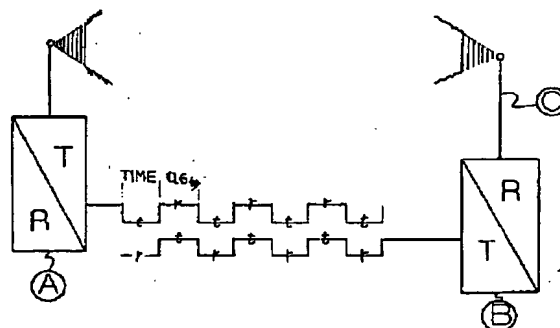
EA23 EA43 FA02

(54) 【発明の名称】 忘れ物防止機

(57) 【要約】

【課題】 親機と子機で一組の、特定距離以上離れると反応する忘れ物防止機。また親機と子機で一組の特定距離以内に近づくと反応し、捜し物を見つける忘れ物防止機を提供する。

【解決手段】 親機 (A) は一定の時間 (TIME) 断続的に子機 (B) に電波 (t) を送る。子機 (B) はその電波 (t) を受信 (r)、受信が終わるとすぐに親機 (A) に電波 (t) を送る。親機 (A) はその電波 (t) を確認する。これを1周期として繰り返す。周期が狂うと親機 (A) が反応しブザー等で知らせる。これにより忘れ物を防ぐことができる忘れ物防止機である。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 送信機(T)と受信機(R)を備えた親機(A)と送信機(T)と受信機(R)を備えた子機(B)で一組の、特定距離以上離れると親機(A)が反応する忘れ物防止機。

【請求項2】 送信機(T)と受信機(R)を備えた親機(A)と送信機(T)と受信機(R)を備えた子機(B)で一組の、特定距離以内に近づくと親機(A)が反応し、さがし物を見つける、忘れ物防止機。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は子機を手荷物等に入れて使用し、手荷物を置き忘れて離れると親機がブザー等で反応する、忘れ物防止に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来は、盗難防止の為に手荷物と自分の手首などを手錠等で完全に繋いでしまう、もしくは盗難に遭った手荷物内部の子機に、本体である親機から電波を送り、高電圧で反応させるなどのものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があった。

(イ)手荷物と手首など体の一部を手錠等で完全に繋いでしまうと、身体の動きに大幅な制約があり大変に不便である。

(ロ)本体から盗難に遭った手荷物内部の子機に電波を送り、高電圧で反応させるものは、盗難に遭ったことに気づかなければ反応させることができない。

【0004】

【課題を解決するための手段】親機(A)は一定の時間(TIME)断続的に子機(B)に電波(t)を送る。子機(B)はその電波(t)を受け(r)おわるとすぐ親機(A)に電波(t)を送り、親機(A)はその電波(t)を確認する。これを1周期とし繰り返す。電波(t)は親機(A)と子機(B)が一定距離(5~7メートル)離れると受信できなくなるものである。親機(A)を身につけた人物から子機(B)を備えた手荷物等が一定距離(5~7メートル)離れて電波(t)が受信できなくなり、送受信の周期が狂うと親機(A)が反応してブザー等で持ち主にそれを知らせる。本発明は以上の構成により成る忘れ物防止機である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下本発明の実施の形態を説明する。

(イ)親機の説明 H3CR-A8リレーの二次側A接点と27メガヘルツの送信機のスイッチ部とを接続す

る。次に40メガヘルツの受信機のモーター駆動電源+、-線をHC4-6Vリレー一次側に接続する。

(ロ)子機の説明 27メガヘルツのモーター駆動電源+、-をHC4-6Vリレーの一次側に接続し、その二次側A接点と40メガヘルツ送信機一次側とを接続する。

(ハ)以上の装置で親機から子機、子機から親機に電波が伝わる。次に親機と子機の距離をあけると送信電波(r)が受信できなくなり、子機または親機のHC4-Vが停止する。停止を知らせるためにH3CR-A8リレーを使用し、HC4-6Vリレーが停止したことをブザーで反応させることにした。本発明は以上の構成より成り立っている。本発明を使用し、実験を繰り返すと親機と子機が5~7メートル離れると親機が反応し、子機が親機の送受信範囲からでたことがブザーにより確認できた。

【0006】

【発明の効果】本発明を使用することによって、親機と子機が近づいたり離れたりすると親機のブザー等が反応してそれを知ることができる。従って子機を手荷物、バッグ、トランクなどに入れて親機を自分自身が携帯する事により忘れ物を防止する。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の理論図

【図2】本発明の配線図

## 【符号の説明】

図1 A 親機

B 子機

C アンテナ

T 送信機

R 受信機

t 送信電波

r 受信電波

TIME 時間

図2 1 H3CR-A8リレー

2 27メガヘルツ送信機

3 HC4-6Vリレー

4 スイッチ

5 40メガヘルツ受信機

6 H3CR-A8リレー

7 ブザー

8 アンテナ

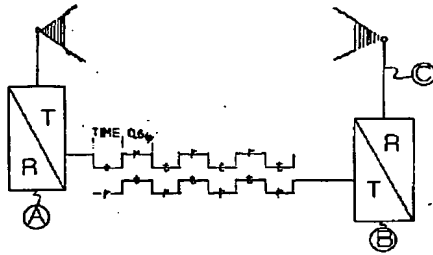
9 HC4-6Vリレー

10 27メガヘルツ受信機

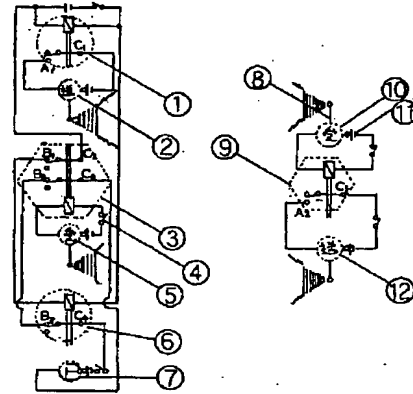
11 バッテリー

12 40メガヘルツ受信機

【図1】



【図2】



BEST AVAILABLE COPY